



# 上川井だより

令和4年1月7日  
横浜市立上川井小学校  
校長 山崎 真紀子

## 1月号

### 厳しい冬を超え、新しい命芽吹く年に

新春の澄み切った空気に身の引き締まる思いがします。

保護者の皆様、地域の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。今年も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年の干支は、皆さんもご存じの通り「寅」です。どうして「虎」と書かずに「寅」と書くのか不思議に感じる方もいらっしゃると思います。干支というと、小学生には、十二支の話が一般的ですが、もともと、古代中国では、十干と十二支を合わせて干支と言っていたそうです。数や方位を表す十干と時刻を表す十二支を組み合わせて暦として使っていたようです。十二支に動物を当てはめたのは、諸説あるようですが、親しみを込めて覚えやすいようにとも言われています。そのため、漢字も動物を表す字と違っていています。

今年の干支は、「壬寅」で、「壬」は、十干の9番目にあたり、次の生命をはぐくむ準備の時期を表しているため、命をはらむ、種ができるというような意味があるようです。妊の字の傍にあたります。「寅」は、十二支の3番目で、生長するとか、延びるという意味があり、「春の胎動、春の象徴、草木が生じる、発育、誕生」などを表します。両方を合わせると「壬寅」には、厳しい冬を超えて、万物が芽吹き始め、新しい成長の礎の年という意味になるそうです。この意味を知り、素晴らしい年になりそうだと嬉しくなりました。

市中では、少しずつ感染者数が増えつつあり、未だ楽観できない状況が続いてはいますが、2年間の自粛生活を乗り越え、新しい希望にあふれた1年にできたらと願わずにはられません。今年が新しい成長の礎となるよう、教職員一同、より充実した楽しい学校をめざして努力を続けたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。